

スコアシート		基本設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.6
Q1 室内環境								3.3
1 音環境								3.0
1.1 騒音								
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音								
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境								3.0
2.1 室温制御								
1 室温設定		3.0	0.50	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	3.0	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御								
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式								
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境								3.4
3.1 昼光利用								
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		4.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		4.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度								
1 照度		3.0	1.00	3.0	-			
2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御								
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境								3.9
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質		4.0	0.50	-	-			
2 アスベスト対策		4.0	1.00	3.0	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気								
1 換気量		3.6	0.30	-	-			
2 自然換気性能		4.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		4.0	0.33	3.0	-			
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視		4.0	0.20	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能								4.0
1 機能性								4.3
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性		4.3	0.40	-	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		5.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		5.0	0.33	3.0	-			
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観		4.3	0.30	-	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	3.0	-			
3 内装計画		5.0	0.33	3.0	-			
3 内装計画		5.0	0.33	3.0	-			
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計		4.5	0.30	-	-			
2 維持管理用機能の確保		5.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		4.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性								4.2
2.1 耐震・免震								
1 耐震性		4.2	0.31	-	-			
1 耐震性		4.6	0.48	-	-			
2 免震・制振性能		5.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数								
1 躯体材料の耐用年数		3.4	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.4	0.33	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		4.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		4.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		4.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			4.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	熱源2種の分散化、災害時対応	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	汚水一次貯留機能	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用電源設備、浸水対策	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	重要な機器の機能維持	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化他	5.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高4.15m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	耐力壁の少量化	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		近隣への配慮から建物高さを低く抑えた計画とする	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	道路に面して歩道状に整備した空地进行を計画する	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制		PAL値-25%以上	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	ライトコートによる採光導入及び通風機能	5.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=31.7	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	行政施設の為、運用管理方針が明快となっている	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1	節水	節水コマ、省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.6	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水を貯留し、植栽散水に利用	4.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材、集成材、タイルを採用	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材の分離が可能	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.22	-	-	4.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質の含有のない材料を採用	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.6	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を使用しない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒	ODP = 0、GWP = 50未満を採用	4.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	4.0
1 地球温暖化への配慮		LCCO2自動計算により、排出量30%低減	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	卓越環境を意識するなど温熱環境に配慮している	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	市指導の流出抑制対策に加え、外構舗装に透水性舗装を採用	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車台数及び管理車用駐車スペースの確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの分別スペースの確保等	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋内照明に配慮し、屋外広告物照明は設けない	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	